

自己評価報告書

平成 23 年 4 月 12 日現在

機関番号：14501
研究種目：若手研究(B)
研究期間：2008 ～ 2012
課題番号：20730209
研究課題名(和文) 金融政策が物価に及ぼす影響：日本の品目別消費者物価及び企業物価を用いた実証研究
研究課題名(英文) Monetary Policy Effects on Prices: Empirical Studies Using Japanese Disaggregate Consumption Prices and Corporate Prices Data
研究代表者 柴本 昌彦 (SHIBAMOTO MASAHIKO)
神戸大学・経済経営研究所・講師
研究者番号：80457118

研究分野：財政学
科研費の分科・細目：財政学・金融論
キーワード：金融論、金融政策の実証、マクロ経済学

1. 研究計画の概要

- (1) 理論・実証研究のサーベイ及び論点整理
- (2) 実証分析

- ① 時系列データセットの構築
- ② 実証モデルの構築・プログラミング
- ③ 金融政策・個別物価ショックの識別
- ④ 個別価格ショックと金融政策ショックに対するインパルスレスポンス関数を導出。
- ⑤ インパルスレスポンスから個別価格の硬直性度合いを計測。金融政策ショックに対する個別価格のインパルスレスポンスを導出することで金融政策ショックに対する個別物価及び一般物価の持続性度合いを計測。
- ⑥ ⑤で計測された指標の特徴を分析

- (3) 解釈
- (4) 学術論文の作成

2. 研究の進捗状況

- (1) 金融政策ショックの識別方法、品目別物価に関する分析、欧米の同様の分析に関する先行研究を整理。一部を論文「品目別物価指数の特性と金融政策の相対価格への波及効果：近年の研究動向及び日本のデータを用いた実証研究」で公表した。
- (2) ①品目別物価、及びマクロ時系列データセットの構築を行った。

② 実証モデルとして、標準的な VAR モデル、FAVAR モデル等を主軸に構築。プログラミングを行った。

③ VAR モデル・FAVAR モデル・Honda and Kuroki (2006)の Euro Yen 先物金利から導出された金融政策サプライズ、それぞれのモデルから金融政策ショックの識別を行った。またモデルから個別価格ショックの識別を行った。

④⑤ 日本の品目別国内企業物価インフレ率の特性が先行研究と同様の性質を持つことを確認。また、個別物価ショックに対しては即座に価格変更するものの、金融政策ショックに対しては新たな物価水準に到達するまでに長いタイムラグを伴うことが分かった。

⑥生産段階の違いにより物価への金融政策効果に短期的な異質性がある。金融政策は長期的(少なくとも3年後)にも相対価格に影響を及ぼす傾向があり、分散の大きい、持続性の高い、価格改定頻度が高い品目への影響が大きいことがわかった。なお、現在、産業内競走度といった指標との関係を分析中。加えて、これらの結果が異なる特定化の下でも頑健な結果であるのか確認作業を行っている。

(3) (4) ``Disaggregated Prices and Their Effects of Monetary Policy Shocks in Japan' ' 'として国際ジャーナルへの投稿のための論文を作成中。加えて、ゼロ金利下における同様の分析、90年代以降の金融政策の有効性の検証に関する論文を作成する予定である。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

[理由] 現在最終段階の分析を残しているものの、分析の大部分は概ね終えている。また、本研究と関連したものとして、(1) 低金利下における金融政策効果の検証、(2) 金融政策の有効性の再検証、といった研究に結び付いている。

4. 今後の研究の推進方策

(1) 国際学術雑誌へ投稿するための論文を作成する。

現在、国民経済雑誌にて発表した論文の他に、``Disaggregated Prices and Their Effects of Monetary Policy Shocks in Japan' ' 'の作成を行っている。加えて、量的緩和期の物価への効果に関する分析を進め、論文の作成を予定している。

(2) 研究成果の発表・意見交換

2010年7月1日から2012年6月30日まで、University of California, San Diego 校にて在外研究を行っている。本校には日本経済研究に関する第一人者である星岳雄教授をはじめとした世界的にも著名な研究者がおり、研究成果を報告するとともに意見交換を行うことで、更なる研究成果を挙げられることが期待できる。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者に

は下線)

[雑誌論文] (計6件)

① SHIBAMOTO, Masahiko, The Estimation of the New Keynesian Phillips Curve in Japan and Its Implication for the Inflation Response to a Monetary Policy Shock, RIEB, Discussion Paper Series, No.235, 2009, 査読無

② 柴本昌彦, 品目別物価指数の特性と金融政策の相対価格への波及効果：近年の研究動向及び日本のデータを用いた実証研究, 国民経済雑誌, 200巻・4号, 83-99, 2009

[学会発表] (計8件)

① 柴本昌彦, The Estimation of the New Keynesian Phillips Curve in Japan and Its Implication for the Inflation Response to a Monetary Policy Shock, 金融研究所セミナー、日本銀行金融研究所、2009年3月10日

② 柴本昌彦, The Estimation of the New Keynesian Phillips Curve in Japan and Its Implication for the Inflation Response to a Monetary Policy Shock, 日本金融学会2009年度春季大会、東京大学、2009年5月16日

③ 柴本昌彦, 両大戦間期日本のマクロ経済政策の効果について：インフレ予想を含むVARによる推計, 金融研究所セミナー、日本銀行金融研究所、2010年6月25日

[図書] (計1件)

[その他]